

校長室だより



(海南小ホームページ)

「相手を気遣う」

新学期が始まり2か月が経ちました。子供たちは、学校生活にも慣れてきて、どの学年も落ち着いてしっかりと学習できています。

さて、6月に入り雨の多い季節となりました。先日の全校朝会で「傘かしげ」のお話をしました。「傘かしげ」とは、狭い道などで傘をさした人同士がすれ違う際に、相手に傘の雨粒がかからないように相手と反対側に傘を傾ける仕草のことです。これは、「江戸しぐさ」といって江戸時代から日本人の思いやりを示すものの一つです。このように、昔から日本人は、ちょっとした仕草にも相手を思いやることができる素晴らしいところがあることを子供たちに紹介させてもらいました。

学校でも、気配りができ、思いやりのある子供を育てたいと思います。

家庭の日・読書の日について

海南小学校では、毎月の10日、20日、30日を「家庭の日・読書の日」としています。家庭の日は、家庭のことを考える日として、家族の絆を深めたり、家族の団らんを大切にしたりする日にしてはどうでしょうか。例えば、夕食をみんなで食べる、〇時までにはテレビを消して家族と話してみる、ノーゲームデーにする、星空をながめてみる等、家庭のこと・家族のことを見つめ直す機会にして欲しいと思います。

また、今年から読書の日を付け加えました。子供の読書離れが進む中、少しでも本に親しむ時間をもってもらえたらと思います。学校でも、「にもの会」による読み聞かせや海南図書館の利用などを積極的に行っています。もうすぐ始まる夏休みにもぜひ本に親しんでもらいたいと思います。

地震津波避難訓練

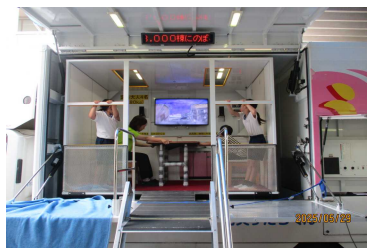
5月29日(木)、地震津波避難訓練を行いました。今年度の新たな訓練として、①防災頭巾(ヘルメット)を着用しての避難、②海部高校屋上への移動、③起震車体験を行いました。様々な想定のもと、あらゆる訓練を重ねることが必要だと考えています。



本校屋上への避難



海部高校へ移動



起震車体験

